

授業科目 地球環境論

【担当教員名】 澤口 晋一	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健康・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現

【概要・一般目標：GI0】

地球環境問題の中から地球温暖化問題、オゾン層の破壊、生物多様性について取り上げ概説する。地球温暖化は将来の世界に大きな影響を与えることが懸念されている。しかし、影響の大きさが喧伝される割には、温暖化によってこれまでどこで何が起きて、これからどこで何が起きると予想されているのか、さらにこの問題に関して国際社会は何をやってきて、これから何をしようとしているのか、といったことに関しては、一般には必ずしもよく理解されていない面がある。このような点を踏まえて、本講義では、地球温暖化が原因と考えられる諸現象について、できるだけ多くの事例を用いて説明する。ついで、この問題に対する国際社会の取り組みについて説明し、地球温暖化とその問題の全体像を把握する。後者2つに関しても問題の全体を把握し、問題の核心を分かりやすく解説する。

【学習目標】

地球環境問題とは何かを多角的に認識するとともに、この問題に対して、自己の位置づけを市民としての立場から明確化すること。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	「地球環境」と「地球環境問題」		講義
2	地球環境問題の原因と構造。地球環境問題への国際社会の取り組みとその歴史		講義
3	地球温暖化の検証（温室効果ガスの大気中濃度、気温の推移）		講義
4	地球温暖化の検証2（海面上昇、山岳氷河、両極域の海水面積、永久凍土）		講義
5	温室効果のメカニズム（温室効果を正しく認識する）		講義
6	IPCCによる将来予測1（第四次評価報告書 報告書に基づいて）		講義
7	IPCCによる将来予測2（第四次評価報告書 報告書に基づいて）		講義
8	ビデオ視聴（NHKスペシャル 気候大異変1,2）2006年放送		講義
9	地球温暖化に対する国際社会の取り組みと日本（気候変動枠組み条約、京都議定書、締約国会議）		講義
10	第四紀の気候変動からみた現在の地球温暖化の位置づけ、人為的温暖化反対説について		講義
11	オゾン層の破壊、地球大気とオゾン層		講義
12	オゾン層保護に関する国際的取り組み		講義
13	生物多様性とは何か		講義
14	生物多様性に関する国際動向		講義
15	まとめ（地球環境問題と資源、エネルギーとの関係）		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	<生物多様性>入門	鷲谷いずみ	岩波書店	2010・630円
その他の資料	気候変動2007：統合報告書 政策決定者向け要約	IPCC (L. Bernstein ほか)、文科省・気象庁・環境省・経産省	文科省・気象庁・環境省・経産省	2009・ http://www.env.go.jp/earth/ipcc/4th/syr_spm.pdf
	平成21年度オゾン層等の監視結果に関する年次報告書 第1章 オゾン層の状況	環境省	環境省	2009・ http://www.env.go.jp/earth/report/h22-06/1-1_chapter1.pdf

【評価方法】

試験

【履修上の留意点】

上記2点の資料を明記したアドレスからダウンロードして出来ればカラーで印刷しておくこと。